

2023年5月10日

報道各位

あらゆる領域のクリエイティブを対象としたアワード  
「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」  
6月1日のエントリー受付に向け、審査委員および応募要項を発表

～広告、マーケティング、PR、メディア、デザイン、テクノロジーなど各界を代表する多彩な審査委員が集結～

一般社団法人 ACC（英文名：All Japan Confederation of Creativity、東京都港区、理事長：高田 坦史）は、あらゆる領域のクリエイティブを対象としたアワード「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」（URL：<https://www.acc-awards.com/>）を開催、エントリーを2023年6月1日（木）より開始いたします。

応募部門は、フィルム部門、フィルムクラフト部門、ラジオ & オーディオ広告部門、マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR 部門（2023年度新設）、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の全9部門です。

本日2023年5月10日（水）、各部門の審査委員および応募要項を、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて発表いたしました。

本年も、様々な業界の第一線で活躍するクリエイターや有識者など、各部門とも多彩な顔ぶれの方々に審査いただきます。

■各部門審査委員長メッセージおよび、審査委員一覧：<https://www.acc-awards.com/juries2023/>



エントリー期間は、2023年6月1日（木）～6月30日（金）18時まで。作品の応募は、「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにてユーザー登録後、マイページよりご応募いただけます。

入賞作品は、2023年9月下旬～10月中旬に各部門のショートリストを発表。その後、最終審査を経てACC グランプリ、ゴールドをはじめとする全入賞作品を決定、発表いたします。



「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」では、より多くの秀逸な作品を顕彰することで、さまざまな企業や団体、クリエイターの日頃の取り組みに光を当てると共に、更なる日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく努めてまいります。

なお、各部門の応募要項や審査委員など、詳細は以下の通りです。

## 「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」概要

### 【エントリー期間】

- ・前期料金対象期間：2023年6月1日(木)～6月15日(木)23:59まで
- ・後期料金対象期間：2023年6月16日(金)～6月30日(金)18:00まで

### 【入賞作品発表】

- ・ショートリスト発表：2023年9月下旬～10月中旬  
発表のタイミングは部門ごとに異なります。
- ・各部門グランプリなど全入賞作品発表：2023年11月1日(水)、2日(木)  
詳細が決まり次第、アワードサイトにてお知らせいたします。

### 【部門構成および参加資格】

#### ■フィルム部門

- ・A カテゴリー (テレビCM、地域テレビCM)  
2022年7月1日～2023年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。
- ・B カテゴリー (Online Film)  
2022年7月1日～2023年6月30日までの間に、Web上で公開されている映像広告。  
初公開日は問わない。

#### ■フィルムクラフト部門

2022年7月1日～2023年6月30日までの間に公開されている動画。初公開日は問わない。  
昨年応募された作品は除く。

※「映像」であれば、制作プロセスや使用したテクノロジー、またローンチしたメディアや場所についても限定しません。

※サブカテゴリーなどの詳細については、後日発表させていただきます。

※『スタッフ賞』は、『フィルムクラフト部門』応募作品の中から、審査委員が「この作品のこのクラフト部分を評価したい」と思った内容を選び、それに貢献したスタッフ全員に贈賞いたします。

**■ラジオ & オーディオ広告部門**

## ・ A カテゴリー（ラジオ CM、地域ラジオ CM）

2022年7月1日～2023年6月30日までの間に一般社団法人日本民間放送連盟に加入している放送局において初放送されたCM。

## ・ B カテゴリー（オーディオエグゼキューション）

2022年7月1日～2023年6月30日までの間に日本国内で公開・実施された、音声広告や音声を使用したコンテンツ、エグゼキューション、サービス、プロダクト。

**■マーケティング・エフェクティブネス部門**

2022年7月1日～2023年6月30日の間に、テレビCM、ラジオCM、新聞・雑誌、Web、イベント等で展開されたキャンペーン施策。

※継続中のキャンペーンであれば、過去にエントリー歴のあるものも応募が可能です。

ただし、過去にエントリーした際と、「成果」の違いを明確に示してください。

<サブカテゴリー> エントリーの際に、以下A・Bのいずれかをご選択ください。

## A：ショートターム・エフェクティブネス

単年度のマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、成果をあげたキャンペーンを評価します。

## B：ロングターム・エフェクティブネス

複数年にわたって持続性のあるマーケティング活動やクリエイティブアイデアにより、生活者とのエンゲージを深め、今年その成果をさらに向上させたキャンペーンを評価します。

※サブカテゴリーは、あくまでカテゴリーの領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

**■ブランデッド・コミュニケーション部門**

2022年6月1日～2023年6月30日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたブランデッド・コミュニケーション（広告/キャンペーン/ブランデッド・コンテンツ）。

※2022年6月1日～2022年6月30日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

※複数の部門、カテゴリーへの応募は可能です。

## ・ A カテゴリー：デジタル・エクスペリエンス

デジタルテクノロジーを活用した表現における卓越したデザインと優れたユーザーエクスペリエンス、クリエイティビティとクラフトマンシップを表彰します。

## ・ B カテゴリー：プロモーション/アクティベーション

商品やサービスの購入や利用に対して、ターゲットの積極性を促すことができた最も新しく創造的なアイデアを表彰します。

・C カテゴリー：ソーシャル・インフルーエンス

ブランドのために創られた、ソーシャルメディアやデジタル上のコンテンツの優れたクリエイティビティや美しい設計、その拡散力を表彰します。

#### ■PR 部門 ※2023 年度新設

2022 年 6 月 1 日～2023 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開された PR 活動（コーポレート PR、マーケティング PR、ソーシャルキャンペーン、パブリックアフェアーズ、リスクマネジメント、CSR 活動／SDGs 活動、インナーコミュニケーション、地域創生等）。

※過去にエントリーした作品でも継続中の PR 活動であれば、応募可能です。ただし、過去にエントリーした際から「クリエイティビティ」という観点の新たなチャレンジや「成果」の違いを明確に示してください。

※複数の部門への応募は可能です。

#### ■デザイン部門

2022 年 6 月 1 日～2023 年 6 月 30 日の間にローンチもしくは、リニューアルし展開されたデザイン。

※2022 年 6 月 1 日～2022 年 6 月 30 日の作品は、昨年応募されていないことが条件です。

<審査対象カテゴリー>

1. ブランドデザイン分野（ブランディングや広告に関するコミュニケーションのデザイン）
2. エクスペリエンスデザイン分野（サービスや UI/UX、インスタレーションのデザイン）
3. ソーシャルデザイン分野（地域や社会の課題解決など、未来に向けてのデザイン）
4. プロダクトデザイン分野（プロダクトやパッケージなど製品に関するデザイン）
5. スペースデザイン分野（空間や施設、建築など場に関するデザイン）

※審査対象カテゴリーは、あくまで部門の領域を理解してもらうためであり、審査を行う上でのガイド的なものです。カテゴリーごとの賞を出すためのものではありません。

#### ■メディアクリエイティブ部門

2022 年 6 月 1 日～2023 年 6 月 30 日の期間に、実施された（放送・出稿等された）メディアのアセットを活用した仕掛けや取り組み。

※2022 年 6 月 1 日～2022 年 6 月 30 日に実施されたものについては、昨年応募されていないことが条件です。

#### ■クリエイティブイノベーション部門

「ビッグアイデア×テクノロジー」

未来を創り出す、世の中を動かす可能性のあるアイデアとテクノロジーとの掛け算で産み出されたプロダクト&サービスと、プロトタイプ。

※上市または社会実装、ローンチの時期は問いません。

※昨年エントリーしたものでも応募が可能です。その場合は、従前のものとの違いや差分を明らかにしてください。



【審査委員長】

■フィルム部門

細川 美和子（（つづく）／CREATIVE DIRECTOR、COPY WRITER）

■フィルムクラフト部門

多田 真穂（電通クリエイティブ X／エグゼクティブプロデューサー、エグゼクティブオフィサー）

■ラジオ & オーディオ広告部門

古川 雅之（電通（Creative KANSAI）／グループ・クリエイティブ・ディレクター、CM プランナー、コピーライター）

■マーケティング・エフェクティブネス部門

簗部 敏彦（花王／作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長）

■ブランデッド・コミュニケーション部門 ※新任

尾上 永晃（電通／プランナー）

■PR 部門 ※2023 年度新設

眞野 昌子（日本マクドナルド／広報部 部長）

■デザイン部門

太刀川 英輔（NOSIGNER CEO／JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長／  
進化思考提唱者／2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター）

■メディアクリエイティブ部門

中谷 弥生（TBS テレビ／取締役）

■クリエイティブイノベーション部門

中村 洋基（PARTY Creative Director、Founder／ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD／  
電通デジタル客員 ECD／combo 代表取締役）

<各部門の審査委員長メッセージ>

<https://www.acc-awards.com/juries2023/>

<各部門の審査委員一覧>

資料 1「各部門 審査委員一覧」をご参照ください。

## 【コラボレーション】

gettyimages®

BRANDED  
SHORTS

## ■ 「ゲッティイメージズ」

マーケティング・エフェクティブネス部門、ブランデッド・コミュニケーション部門、PR 部門、デザイン部門、メディアクリエイティブ部門、クリエイティブイノベーション部門の各応募資料に、ゲッティイメージズの画像素材を無料で使用することができます。

<ゲッティイメージズご利用案内>

<https://www.acc-awards.com/other/gettyimages/>

## ■ 「ショートショート フィルムフェスティバル &amp; アジア」

フィルム部門 B カテゴリー（オンラインフィルム）では、米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」BRANDED SHORTS 部門（<http://brandedshorts.jp/about/>）とのコラボレーションを実施。ACC ファイナリスト以上に入賞した作品は、エントリー無料と同部門への応募が可能となります。

## ■ SNS でも話題！「ゾワワの神様」と ACC 賞がコラボ！

元広告代理店クリエイターのうえはらけいた氏が描く、クリエイター共感必至の WEB 漫画「ゾワワの神様」。主人公の新人コピーライターが、今回は ACC 賞とは!?に迫ります。

特別読切の本作は 2023 年 5 月 24 日（水）に ACC の特設ページで公開予定です。

< 「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイト >

URL : <https://www.acc-awards.com/>

< 主催：一般社団法人 ACC >

URL : <https://www.acc-cm.or.jp/>



【ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS とは】

「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」は、テレビ、ラジオ CM の質的向上を目的に、1961 年より開催する広告賞「ACC CM FESTIVAL」を前身とし、2017 年よりその枠を大きく広げ、あらゆる領域におけるクリエイティブを対象としたアワードにリニューアルしました。

名実ともに、日本最大級のアワードとして広く認知されており、ACC グランプリはクリエイティブにたずさわる人々の大きな目標となっています。

【ACC とは】

よい CM の制作と放送の実現に寄与することを目的として、1960 年に活動を開始しました。

ACC は、広告主・広告会社・制作会社・メディアの 4 業種のメンバーを中心に構成され、業種の枠を超え、グローバルな視点から日本のクリエイティビティの発展に貢献すべく活動しています。

本件に関するお問い合わせ

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-4-2 西新橋安田ユニオンビル 6F

TEL : 03-3500-3261 FAX : 03-3500-3263 URL : <http://www.acc-cm.or.jp>

一般社団法人 ACC 担当：平川



資料 1

「2023 63rd ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」  
各部門 審査委員一覧

(敬称略、審査委員は五十音順)

■フィルム部門

審査委員長

細川 美和子 ((つづく)/CREATIVE DIRECTOR/COPY WRITER)

審査委員は、決まり次第アワード特設サイトにて発表します。

■フィルムクラフト部門

審査委員長

多田 真穂 (電通クリエイティブ X/エグゼクティブプロデューサー、エグゼクティブオフィサー)

審査委員

井口 弘一 (SOURSOX/ディレクター)

市橋 織江 (市橋織江写真事務所)

稲垣 護 (ギークピクチャーズ/取締役、エグゼクティブプロデューサー)

加島 貴彦 (zero/執行役員、CREATIVE PRODUCER)

勝俣 円 (DASH/執行役員、チーフプロデューサー)

神田 剛志 (十十 (jitto.inc) /Founder、VFX Supervisor)

菅野 よう子 (作編曲家、プロデューサー)

児玉 裕一 (vivision 映像ディレクター/CANADA LONDON)

金野 恵利香 (TYO WHOAREYOU/ディレクター)

貞原 能文 (MARK/会長、プロデューサー)

関口 現 (REINBACH/CM ディレクター)

浜崎 慎治 (CM ディレクター)

柳町 建夫 (TATEO/美術デザイナー)

山田 勝也 (愛印/代表取締役、音楽プロデューサー)

山田 智和 (Caviar/Tokyo Film Director)

ほかご依頼中





## ■ラジオ&オーディオ広告部門

### 審査委員長

古川 雅之 (電通(Creative KANSAI)/グループ・クリエイティブ・ディレクター、CMプランナー、コピーライター)

### 審査委員

久間 恵子 (博報堂クリエイティブ・ヴォックス/コピーライター、クリエイティブディレクター)

黒沢 かずこ (吉本興業/お笑い芸人)

澤本 嘉光 (電通グループ/グロス・オフィサー、エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター、脚本)

谷 道忠 (ヒッツコーポレーション/プロデューサー)

中山 佐知子 (ランダムハウス/コピーライター、ディレクター)

野田 絵美 (博報堂 DY メディアパートナーズ/メディア環境研究所 上席研究員)

橋本 吉史 (TBS ラジオ/事業創造センター部次長、新規事業創造プロデューサー)

林 尚司 (電通/クリエイティブ・ディレクター)

宮坂 和里 (博報堂/コピーライター)

吉岡 由祐 (大広 WEDO/クリエイティブディレクター、CMプランナー、コピーライター)

ほかご依頼中

## ■マーケティング・エフェクティブネス部門

### 審査委員長

簗部 敏彦 (花王/作成センター コミュニケーション作成部 コミュニケーション作成部長)

### 審査委員

加藤 倫子 (電通/コミュニケーションプランナー、PRプランナー)

坂井 嘉裕 (サイバーエージェント/インターネット広告事業本部 統括)

楯 美和子 (ローソン/常務執行役員、コミュニケーション本部長兼広報部長)

中川 悠 (博報堂/生活者エクスペリエンスクリエイティブ局 事業構想クリエイティブ一部 部長 戦略 CD)

萩原 幸也 (リクルート/マーケティング室 クリエイティブ・ディレクター)

馬場 直也 (サントリーホールディングス/宣伝部部長 兼 デジタルマーケティング部部長)

平井 秀治 (ロッテ/執行役員 マーケティング本部長)

藤本 修二 (東急エージェンシー/第1統合ソリューション局第1統合プランニング部 部長 クリエイティブディレクター)

細川 万理 (ADK マーケティング・ソリューションズ/クリエイティブ・ディレクター、コピーライター)

松村 眞依子 (日産自動車/日本マーケティング本部 ブランド&メディア戦略部 シニアマネージャー)

以上



## ■ブランデッド・コミュニケーション部門

### 審査委員長 ※新任

尾上 永晃（電通／プランナー）

### 審査委員

有元 沙矢香（電通／クリエイティブディレクター、コピーライター）

市川 晴華（CHOCOLATE／プランナー、クリエイティブディレクター）

木本 梨絵（HARKEN／クリエイティブディレクター）

栗林 和明（CHOCOLATE／取締役、チーフコンテンツオフィサー）

嶋野 裕介（電通／クリエイティブディレクター、PR ディレクター）

多々良 樹（電通／プランナー、コピーライター）

畑中 翔太（dea 代表、クリエイティブディレクター／BABEL LABEL プロデューサー、脚本家）

三浦 崇宏（The Breakthrough Company GO 代表取締役／PR/Creative Director）

村上 絵美（ADK マーケティング・ソリューションズ／クリエイティブディレクター、アートディレクター）

ほかご依頼中

## ■PR 部門 ※2023 年度新設

### 審査委員長

眞野 昌子（日本マクドナルド／広報部 部長）

### 審査委員

青崎 曹（マテリアル 代表取締役社長／マテリアルグループ 代表取締役 CEO）

工藤 里紗（テレビ東京／制作局 クリエイティブ制作チーム チーフ・プロデューサー）

小林 大地（The Breakthrough Company GO／Creative Director）

佐久間 智之（総務省 地域力創造アドバイザー／早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員／  
PR TIMES エバンジェリスト／PRDESIGN JAPAN 代表取締役）

嶋 浩一郎（博報堂 執行役員／博報堂ケトル 取締役 クリエイティブディレクター）

財田 恵里（博報堂／PR ディレクター、コンテキストデザインディレクター）

竹下 隆一郎（PIVOT／チーフ・グローバルエディター（執行役員））

永井 正太郎（エバラ食品工業／経営企画本部広報室長）

根本 陽平（電通 PR コンサルティング エグゼクティブ・アドバイザー／大正大学 非常勤講師／PR プロデューサー）

橋本 しおり（ベクトルグループ プラチナム／第 6 コンサルティング局 局長、PR ディレクター）

坊垣 佳奈（マクアケ／共同創業者、取締役）

細川 美和子（(つづく)／CREATIVE DIRECTOR、COPY WRITER）

松本 理永（サニーサイドアップ／取締役）

以上



## ■デザイン部門

### 審査委員長

太刀川 英輔 (NOSIGNER CEO/JIDA(公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会)理事長/  
進化思考提唱者/2025 大阪関西万博日本館基本構想クリエイター)

### 審査委員

秋山 かおり (STUDIO BYCOLOR 代表/デザイナー)  
川村 真司 (Whatever Chief Creative Officer、Co-Founder/Open Medical Lab Chief Creative Officer)  
小玉 文 (BULLET 代表、アートディレクター、デザイナー/東京造形大学 助教)  
武部 貴則 (横浜市立大学 先端医科学研究センター/コミュニケーション・デザイン・センター長)  
成瀬 友梨 (成瀬・猪熊建築設計事務所/代表取締役)  
原田 祐馬 (UMA/design farm 代表/どく社 共同代表)  
ムラカミカイエ (SIMONE/CEO、EXECUTIVE CREATIVE DIRECTOR)  
山崎 晴太郎 (セイタロウデザイン/代表、アートディレクター、デザイナー)  
ライラ・カセム (シブヤフォント/アートディレクター)

以上

## ■メディアクリエイティブ部門

### 審査委員長

中谷 弥生 (TBS テレビ/取締役)

### 審査委員

石井 玄 (ニッポン放送/プロデューサー)  
今西 周 (日本コカ・コーラ/日本・韓国オペレーションユニット、  
マーケティング本部 IMX (インテグレートッド・マーケティング・エクスペリエンス) 事業本部長)  
内山 聖子 (テレビ朝日/取締役)  
久保 泰博 (ADK マーケティング・ソリューションズ/  
EX デザインセンター パーティカル CR プランニンググループ シニア・コミュニケーション・ディレクター)  
阪部 真希 (電通/出版ビジネス・プロデュース局 企画業務推進部 部長)  
関 龍太郎 (Google Japan/Creative Director)  
高橋 利之 (日本テレビ放送網/日本テレビ執行役員・コンテンツ制作局専門局長/総合演出・(兼)営業局)  
瀧川 千智 (博報堂DYメディアパートナーズ/  
クリエイティブ&テクノロジー局 ソリューション開発グループ グループマネージャー)  
永田 佑子 (Z ホールディングス 執行役員 CEO 事業推進統括部長/ヤフー 執行役員 マーケティング統括本部長)  
波多野 玲奈 (NTT ドコモ/ブランドコミュニケーション部 コーポレートブランド コミュニケーション担当)

以上



## ■クリエイティブイノベーション部門

### 審査委員長

中村 洋基 (PARTY Creative Director、Founder/ヤフー メディアカンパニーMS 統括本部 ECD/  
電通デジタル客員 ECD/combo 代表取締役)

### 審査委員

石井 芳明 (経済産業省/経済産業政策局 新規事業創造推進室長)

木崎 綾奈 (NewsPicks Studios/取締役、チーフプロデューサー)

小池 藍 (THE CREATIVE FUND, LLP/代表)

小林 雅 (ICC パートナース/代表取締役)

笹原 優子 (NTT ドコモ・ベンチャーズ/代表取締役社長)

田中 直基 (Dentsu Lab Tokyo/エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター)

天島 カルナ (博報堂/生活者エクスペリエンスクリエイティブ局 アートディレクター)

坊垣 佳奈 (マクアケ/共同創業者、取締役)

松島 倫明 (『WIRED』日本版/編集長)

宮田 昇始 (SmartHR 取締役ファウンダー/Nstock 代表取締役 CEO)

村田 祐介 (インキュベイトファンド/代表パートナー)

米澤 香子 (TBWA\HAKUHODO/Head of Innovation)

以上

「ほかご依頼中」の審査委員につきましては、決まり次第「ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」特設サイトにて、発表いたします。

各審査委員のプロフィール等詳細につきましても、特設サイトよりご覧いただけます。

■<https://www.acc-awards.com/juries2023/>